

木と私たち

第7回講座 大宮盆栽町見学

日時 平成27年1月17日(日) 9:30~15:00

場 所： 大宮盆栽町

参 加 者： 6名

10月の植物園見学がデング熱、台風の影響で実施を見送りましたので、新年でもあり盆栽を見学することにしました。

JR土呂駅から5分歩いて、「さいたま市大宮盆栽美術館」は館内と屋外の庭園に盆栽が展示されており、素人目にも立派なかたちの松や梅など、枝ぶりがなんとも言えない盆栽に暫し見入ってしまいました。季節ごとに展示の内容を変えるので時期を変えて訪問すると良いですね。建物二階からの庭園の眺めもお勧めです。次は「蔓青園：まんせいえん」で盆栽を育てている棚にある大小いろんな盆栽を見ることができました。これから育てる小さな盆栽でもお値段はさすがでした。EU向けと表示した盆栽棚もあり海外への輸出もあるようです。

盆栽四季の家は無料の休憩所で板の間や木の長椅子がありましたが、入り口は開けっ放しなので、寒い時期は利用する人は少ないと思いました。

「九霞園：きゅうかえん」は小ぶり盆栽を多く扱っているようで、盆栽用の挿し木などがありました。東武大宮公園駅近くのウッディーハウスでコーヒー付き定食を食べながら、素人の盆栽談義をしました。

「芙蓉園：ふようえん」はテレビでも良く紹介されるところで、大ききの揃った盆栽に圧倒されました。少し観て歩いたのもあり、ここの盆栽はすばらしい盆栽が揃っているとの参加者一同の感想でした。

見学の予定に無かった「さいたま市漫会館」は明治から昭和に活躍した北沢楽天（日本で一番最初のカラー漫画を作成した）の漫画誌「東京パック」等の漫画が展示されており、当時の漫画はどんなであったか、伺い知ることができます。入り口近くのボードには開館の際に集った手塚治の「鉄腕アトム」など著名な漫画家の絵とサインが残されています。植竹稻荷神社の境内には盆栽村開拓の功労者である清水瀨庵翁の記念碑があり、パワースポットと言われています。

「藤樹園：とうじゅえん」も多くの大きな盆栽が棚に並んでいます。大き目の盆栽は何年掛かっているかとの聞いたところ150年は掛かっているとの返事に一同感心、高価であることも理解しました。当園では盆栽教室も開かれており、自分の身の丈にあった（年齢を考えた）盆栽に取り組めたら良いですね。

大宮盆栽村
お散歩マップ

さいたま市
大宮盆栽美術館
発行：大宮盆栽美術会
企画・編集：有限会社E-スタジアム

このリーフレットは30,000部発行し、1部あたりの作成費は10円です。

注：各園では写真真撮影が禁じられているので、残念ですが写真が限られます。

* 盆栽美術館の盆栽写真

